

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0107	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月6日			(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	SARRY II 新設工事									
	発生場所	1F構内						2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/21	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	222/101	
記入欄メモ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
						① ② ③					
	1	カウンターウェイト				B 01 D A	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	本体等その他				B 01 D A	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 ※移動式クレーンを使用し、ウェイトを吊下ろし予定。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0124
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月6日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	カウンターウェイト ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/6 10:00	3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	本体等その他 ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/6 10:00	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015		
作業主管理	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	Bエリア					2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
線量測定	線量測定年月日	2018/2/20		測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-102	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③								
		1	アスファルトガラ	B 09		D A	3 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h	
		2	鉄筋コンクリートガラ	B 02		D A	3 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h	
3												
4												
5												
※No1,No2については、今後コンテナ詰め予定												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0129
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月6日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	150	μ Sv/h	180	μ Sv/h			3	m <sup>3</sup>			
1	1	アスファルトガラ	5	μ Sv/h	150	μ Sv/h	180	μ Sv/h	エリアP2	2018/3/6 8:25	3	m <sup>3</sup>			1	
2	1	鉄筋コンクリートガラ	5	μ Sv/h	160	μ Sv/h	200	μ Sv/h	エリアP2	2018/3/6 8:25	3	m <sup>3</sup>			1	
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	9:30		承認	審査	作成						
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事													
	発生場所	Bエリア							2018/2/21						
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/2/20		測定者			測定器名	βγ用電離箱							
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率						
		①	②	③											
		1	アスファルトガラ	B 09						D A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
		2	鉄筋コンクリートガラ	B 02						D A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
3					m <sup>2</sup>										
4					m <sup>2</sup>										
5					m <sup>2</sup>										
※No1,No2については、今後コンテナ詰め予定															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0130
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月6日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	70 μSv/h	120 μSv/h	エリアP2	2018/3/6 9:30	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0017							
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	11:00		承認		審査		作成						
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)															
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/2/21		2018/2/21		2018/2/20					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL									
	元請会社					担当者		TEL									
	線量測定年月日	2017/9/22		測定者				測定器名		F1-ICWBL		管理番号 189					
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率	
	1	フランジタンク片天板 (T170084)				B 11 D A		21 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無			
	2	フランジタンク片天板 (T170086)				B 11 D A		21 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無			
	3	フランジタンク片天板 (T170087)				B 11 D A		21 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無			
4	フランジタンク片天板 (T170089)				B 11 D A		21 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無				
5	フランジタンク片天板 (T170092)				B 11 D A		21 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。																	

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0137	2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月5日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	フランジタンク片天板 (T170084)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/5 11:00	21 m <sup>2</sup>		T170084	1
2	1	1	フランジタンク片天板 (T170086)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/5 11:00	21 m <sup>2</sup>		T170086	1
3	1	1	フランジタンク片天板 (T170087)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/5 11:00	21 m <sup>2</sup>		T170087	1
4	1	1	フランジタンク片天板 (T170089)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/5 11:00	21 m <sup>2</sup>		T170089	1
5	1	1	フランジタンク片天板 (T170092)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/5 11:00	21 m <sup>2</sup>		T170092	1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木												
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③										
	6	フランジタンク片天板(T170094)	B	11	D	A	21	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	7	フランジタンク片天板(T170099)	B	11	D	A	21	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	8	フランジタンク片天板(T170103)	B	11	D	A	21	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	9	フランジタンク片天板(T170107)	B	11	D	A	21	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	10	フランジタンク片天板(T170110)	B	11	D	A	21	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0137

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置								
	発生場所	地下水バイパス揚水井エリア							2018/2/21	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/2/19		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	土砂	B	04	W	A	5 m <sup>2</sup>	40 μSv/h	40 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0144
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂 ⑩	5 μSv/h	45 μSv/h		エリアC	2018/3/9 9:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		05	—								
		②	状 態	D:乾燥、W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0016		
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置										
	発生場所	地下水バイパス揚水井エリア					2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21			
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-134		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	土砂	B	04	W	A	5 m <sup>3</sup>	40 $\mu$ Sv/h	40 $\mu$ Sv/h	無		
	2						m <sup>3</sup>					
	3						m <sup>3</sup>					
4						m <sup>3</sup>						
5						m <sup>3</sup>						
調整後保管日時 2018年3月9日 10:30												
【保管時の指示事項等】												

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐採木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事									
	発生場所	2～4号機タービン建屋エリア						2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21	
	作業主管G	トレンチ対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBH( $\beta + \gamma$ )		管理番号	1F-ICWBH-5	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ホース類	C	03	W	B	8 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0162
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月5日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ホース類	6 $\mu$ Sv/h	40 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	エリアX	2018/3/5 10:50	6 m <sup>2</sup>		ZK-00953	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納
--------	---------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事									
	発生場所	2～4号機タービン建屋エリア						2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21	
	作業主管G	トレンチ対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBH( $\beta + \gamma$ )		管理番号	1F-ICWBH-5	
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	3方弁	B	10	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	6 mSv/h
	2	水中ポンプ	B	10	W	B	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.15 mSv/h
	3	鋼材(遮へい用)	B	10	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.05 mSv/h
4	分電盤	B	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.05 mSv/h	
5	練船	A	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.03 mSv/h	
注:	$\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0163
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月5日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	6 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	エリアX	2018/3/5 12:00	6 m <sup>3</sup>		ZK-00981	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】											
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他						2018/2/22	2018/2/21	2018/2/21			
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
メ モ	線量測定年月日	2017/12/12		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-72		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	カナフレックス			C	03	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	20 mSv/h
	2								m <sup>2</sup>				
	3								m <sup>2</sup>				
4								m <sup>2</sup>					
5								m <sup>2</sup>					
Xヤードに持込、6m3コンテナに廃棄。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0166
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月6日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	カナフレックス	5 μSv/h	30 μSv/h	170 μSv/h	エリアX	2018/3/6 10:20	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	伐 採 木	状態 D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他						2018/2/22	2018/2/21	2018/2/21
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-72
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	板金	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0168
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	板金 ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/9 10:25	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	6号機 屋外取水エリア						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	β+α用電離箱		管理番号	F1-1CWBL-27	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	保温材	B	06	D	A	4.3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	金属ガラ	B	01	D	A	1.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0169
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月6日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/6 9:45	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/6 9:45	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0011			
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	8:30		承認	審査	作成				
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事											
	発生場所	H6タンクエリア						2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
線量測定年月日	2018/2/19	測定者				測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③									
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無			
	2	可燃物その他	A	04	D	B	3 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無			
3	不燃物その他	B	10	D	B	3 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無				
4	木材類	A	03	D	B	2 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無				
5						m <sup>2</sup>							
大型2台(金属、不燃)、2t車1台(可燃)													

固体廃棄物管理G記入欄		受付	
受 付 番 号			
廃2018	—	03	— 0172
			2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月6日 8:30	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/6 8:40	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ 線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
2	可燃その他	A	04	D	B	3 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
3	不燃物その他	B	10	D	B	3 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
4	木材類	A	03	D	B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>				
メモ	大型2台(金属、不燃)、2t車1台(可燃)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0173
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月7日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/7 8:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)									
	発生場所	車両汚染検査場						2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22	
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	パワートート(容器、パレット)			A	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2								m <sup>2</sup>			
3								m <sup>2</sup>			
4								m <sup>2</sup>			
5								m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0177
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月5日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 11:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012312 - 0004			
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	12:30		承認	審査	作成				
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)											
	発生場所	車両汚染検査場						2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22			
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	パワートート(容器、パレット)			A	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2								m <sup>2</sup>				
	3								m <sup>2</sup>				
4								m <sup>2</sup>					
5								m <sup>2</sup>					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0178
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月5日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月5日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 12:10	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)									
	発生場所	車両汚染検査場						2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22	
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/21		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0179
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月6日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/6 11:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6012312 - 0004	
作業主管理	保管希望日時	2018年3月6日				(火)		12:30				承認		審査		作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)																
	発生場所	車両汚染検査場																
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員				TEL								
	元請会社					担当者				TEL								
	線量測定年月日	2018/2/21		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-123				
	記入欄	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
						① ② ③												
1		パワートート(金属複合品)				B 10 D B		2 m <sup>2</sup>		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無				
2								m <sup>2</sup>										
3								m <sup>2</sup>										
4								m <sup>2</sup>										
5								m <sup>2</sup>										
メモ																		

固体廃棄物管理G記入欄					受付	
受 付 番 号						
廃2018	—	03	—	0180	2018/2/22	
調整後保管日時			2018年3月6日		12:30	
【保管時の指示事項等】						

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
						06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
	B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —		
	C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —	
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
	② 状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0005																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	8:00		承認	審査	作成																																																																																						
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事																																																																																													
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)					2018/2/22	2018/2/21	2018/2/21																																																																																						
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員			TEL																																																																																							
	元請会社				担当者			TEL																																																																																							
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14																																																																																					
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																																																																					
	1	伐採木		D	02	W	A	2 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無																																																																																				
	2							m <sup>2</sup>																																																																																							
	3							m <sup>2</sup>																																																																																							
4							m <sup>2</sup>																																																																																								
5							m <sup>2</sup>																																																																																								
伐採木 1台目 2m3																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11"></th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日												測定No.	氏名	測定器	管理番号									1												2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日																																																																																															
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1																																																																																															
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																
	1	1	伐採木							エリアV(伐採木)	2018/3/6 8:15	2 m <sup>2</sup>																																																																																			
												m <sup>2</sup>																																																																																			
												m <sup>2</sup>																																																																																			
												m <sup>2</sup>																																																																																			
												m <sup>2</sup>																																																																																			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
メ モ																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—																																																																														
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—																																																																														
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類																																																																														
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他																																																																														
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—																																																																														
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—																																																																														
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—																																																																														
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—																																																																														
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—																																																																														
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																			
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																															

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	可燃物その他			1 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリエステル			1 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
3	紙・ダンボール・ウェス			1 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
4	木材			2 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
5				m <sup>3</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

受 付 番 号			
廃2018	—	03	— 0183
			2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月6日 8:00	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/6 8:00	0.6 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/6 8:00	0.4 m <sup>3</sup>			1
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/6 8:00	0.7 m <sup>3</sup>			1
	4	1	木材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/6 8:00	2 m <sup>3</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0024				
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	11:30		承認	審査	作成					
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事												
	発生場所	H4エリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23				
	作業主管 G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/2/22		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
	1	金属ゴミ	B	01	D	B	2	m <sup>3</sup>	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	2	不燃ゴミ	B	10	D	B	2	m <sup>3</sup>	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	3	ゴム類	C	01	D	B	1	m <sup>3</sup>	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	4							m <sup>3</sup>						
	5							m <sup>3</sup>						
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0184
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月6日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ゴミ ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/6 11:45	2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	不燃ゴミ ③	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/6 11:45	2 m <sup>3</sup>			1
	3	1	ゴム類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/3/6 11:30	0.3 m <sup>3</sup>			2
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木 (幹・根)	02	伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木 (幹・根)	02	伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木 (幹・根)	02	伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F1～5号機建屋内浄化設備設置のうち干渉物撤去・同関連除却								
	発生場所	1F構内						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-9
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	0.5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	不燃物(保温材)	B	06	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.01 mSv/h
3	不燃物(塩化ビニール類)	B	05	D	A	2.5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.01 mSv/h
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0192
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアC	2018/3/9 10:10	0.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	不燃物(保温材)	5 μSv/h	80 μSv/h	600 μSv/h	エリアX	2018/3/9 10:10	5 m <sup>3</sup>			1
	3	1	不燃物(塩化ビニール類)	5 μSv/h	30 μSv/h	80 μSv/h	エリアX	2018/3/9 10:10	2.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012317 - 0032

作業主管理	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	13:00		承認	審査	作成					
	作業件名	モニタリングポスト電源切替盤取替												
	発生場所	モニタリングポスト (MP-1, 2, 4, 5, 6)						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23				
	作業主管G	環境モニタリンググループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
線量測定	線量測定年月日	2018/2/21		測定者			測定器名	γシンチレーション		管理番号	F1-SG-210			
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
		①	②	③										
	1	石綿含有物 (コンクリートガラ)	B	07	D	A	0.2	m <sup>2</sup>	0.2	μ Sv/h	0.2	μ Sv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.2	m <sup>2</sup>	0.2	μ Sv/h	0.2	μ Sv/h	無	
入 欄	3	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	D	B	0.2	m <sup>2</sup>	0.2	μ Sv/h	0.2	μ Sv/h	無	
	4	難燃シート類	C	02	D	B	0.2	m <sup>2</sup>	0.2	μ Sv/h	0.2	μ Sv/h	無	
	5							m <sup>2</sup>						
モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0193
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月9日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
入 欄	1	1	石綿含有物 (コンクリートガラ)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/9 12:40	0.2	m <sup>2</sup>		1
	2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアO	2018/3/9 13:00	0.2	m <sup>2</sup>		2
	3	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアO	2018/3/9 13:00	2.2	m <sup>2</sup>		2
	4	1	難燃シート類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアO	2018/3/9 13:00	0.1	m <sup>2</sup>		2
モ										m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	Eタンクエリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/16		測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27	
G	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③								
	1	保温材	B	06	D	B	8 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2						m <sup>2</sup>					
	3						m <sup>2</sup>					
	4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>						
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0199
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月5日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/3/5 9:05	8 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028			
作 業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月5日		(月)	11:30		承認		審査	作成		
	作業件名		G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所		Eタンクエリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員		TEL				
	元請会社						担当者		TEL				
	線量測定年月日		2018/2/16		測定者		測定器名		β+γ用電離箱		管理番号 F1-ICWBL-27		
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1		保温材			7 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.01 mSv/h		無	
	2					m <sup>2</sup>							
	3					m <sup>2</sup>							
4					m <sup>2</sup>								
5					m <sup>2</sup>								
注: α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0200
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月5日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	7	μSv/h								
	1	1	保温材 ③	5	μSv/h	7	μSv/h			エリアC	2018/3/5 9:40	6 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
①	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	Eタンクエリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0201
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/9 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	Eタンクエリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0202
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月9日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/9 10:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005																																			
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日			(火)	8:30			承認	審査	作成																																		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																																											
	発生場所	H4N								2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1																																	
	作業主管G	貯留設備土木グループ					監理員			TEL																																			
	元請会社						担当者			TEL																																			
	線量測定年月日	2018/2/28		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-77																																		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																		
	1	難燃シート	C	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	$\beta$ 有	20 mSv/h																																		
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	$\beta$ 有	4 mSv/h																																		
	3	碎石	B	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.25 mSv/h																																		
4	ガラ	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	$\beta$ 有	4 mSv/h																																			
5	鉄	B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	$\beta$ 有	4 mSv/h																																			
8m3コンテナ2基分(No132、133)																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年3月6日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-105</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	2018年3月6日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-105		2					3					4				
線量測定内容																																													
測定日	2018年3月6日																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																										
1		ICWBL	F1-ICWBL-105																																										
2																																													
3																																													
4																																													
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																														
	1	1	10m3コンテナ	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/3/6 8:25	10 m <sup>3</sup>		OK-0153	1																														
	1	2	10m3コンテナ	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	20	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/3/6 8:25	10 m <sup>3</sup>		B0041	1																														
												m <sup>3</sup>																																	
												m <sup>3</sup>																																	
												m <sup>3</sup>																																	
												m <sup>3</sup>																																	
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																												
	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納																																												
	※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																															
06					—	07	—	08	—	09	—	10	—																																
B			不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																
C			難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
②			状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																													

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②	③									
	6	木材	A	03	D	A	2	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	$\beta$ 有	0.25	mSv/h
	7	プラ	A	02	D	A	1	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	$\beta$ 有	0.25	mSv/h
	8	ビニール	A	02	D	A	1	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	$\beta$ 有	0.25	mSv/h
	9						m <sup>2</sup>								
	10						m <sup>2</sup>								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0204

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内」にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4N					2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	難燃シート	C	02	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β有	20 mSv/h
2	コンクリートガラ	B	02	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β有	4 mSv/h
3	碎石	B	04	D	A	8 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.25 mSv/h
4	ガラ	B	10	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β有	4 mSv/h
5	ゴム	C	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.25 mSv/h
メモ	8m3コンテナ2基分(No124、125)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0205
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月6日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				15 μSv/h	μSv/h	15 μSv/h	μSv/h	20 μSv/h	μSv/h			10 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	μSv/h	15 μSv/h	μSv/h	20 μSv/h	μSv/h	エリアW1	2018/3/6 9:00	10 m <sup>2</sup>			A0119	1	
1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	μSv/h	80 μSv/h	μSv/h	100 μSv/h	μSv/h	エリアW1	2018/3/6 9:00	10 m <sup>2</sup>			C0021	1	
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状態	D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4N						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	難燃シート	C	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β有	20 mSv/h
2	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β有	4 mSv/h
3	砕石	B	04	D	A	7 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.25 mSv/h
4	ガラ	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β有	4 mSv/h
5	木材	A	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.25 mSv/h
メモ	8m3コンテナ2基分(No126、127)									

受 付 番 号			
廃2018	—	03	— 0206
			2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月6日 10:00	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				15 μSv/h	μSv/h	15 μSv/h	μSv/h	20 μSv/h	μSv/h			10 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	μSv/h	15 μSv/h	μSv/h	20 μSv/h	μSv/h	エリアW1	2018/3/6 9:35	10 m <sup>2</sup>		OK-0274	1		
1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	μSv/h	15 μSv/h	μSv/h	15 μSv/h	μSv/h	エリアW1	2018/3/6 9:35	10 m <sup>2</sup>		A0245	1		
											m <sup>2</sup>					
											m <sup>2</sup>					
											m <sup>2</sup>					
											m <sup>2</sup>					
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	12:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4N						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	難燃シート	C	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20	mSv/h
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4	mSv/h
	3	碎石	B	04	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25	mSv/h
4	ガラ	B	10	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4	mSv/h	
5												
メモ	8m3コンテナ2基分(No128、129)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0207
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月6日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容											
測定日	2018年3月6日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	20	μ Sv/h			10	m <sup>3</sup>			
1	1	10m3コンテナ	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/6 11:30	10	m <sup>3</sup>		B0130	1	
1	2	10m3コンテナ	15	μ Sv/h	25	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/6 11:30	10	m <sup>3</sup>		B0017	1	
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4N						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	難燃シート	C	02	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h	
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h	
	3	碎石	B	04	D	A	8 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h	
4	ガラ	A	02	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h		
5	鉄	B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h		
メモ	8m3コンテナ2基分(No130、131)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0208
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月6日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容											
測定日	2018年3月6日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h			10	m <sup>3</sup>			
1	1	10m3コンテナ	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/6 12:05	10	m <sup>3</sup>		A0086	1	
1	2	10m3コンテナ	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/6 12:05	10	m <sup>3</sup>		A0146	1	
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0233
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月7日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)								
	発生場所	1号機周辺ヤード						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者		測定器名	電 離 箱	管理番号	F1-ICWBL-31		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	不燃物：機器類（発電機1台）	B	03	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β有 0.006 mSv/h
	2	不燃物：機器類（掃除機）	B	10	D	B	0.02 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	不燃物：不燃物その他（バッテリー）	B	10	D	B	0.01 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
4	不燃物：不燃物その他（ホイル付タイヤ）	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>				
メモ	① 発電機のバッテリー・作動油・燃料・冷却水は 撤去しました									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物：機器類（発電機1台）⑩	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアC	2018/3/7 8:15	1.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃物：機器類（掃除機）③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/7 8:15	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃物：不燃物その他（バッテリー）⑥	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2018/3/7 8:15	0.01 m <sup>2</sup>			1
	4	1	不燃物：不燃物その他（ホイル付タイヤ）③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/7 8:15	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	No.1の保管物は測定の結果β汚染無しであったためエリアCに保管											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木（幹・根）	02 伐採木（枝・葉）	03 —	04 —	05	—
		D	伐採木						
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013202 - 0001				
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日			(金)	8:30		承認	審査	作成				
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)												
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード / 物揚場 / 第2地組ヤード					2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26					
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-31					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
	1	東電殿所有6m3コンテナ:TB-161	B	01	D	B	3.5 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h			
	2						m <sup>3</sup>							
	3						m <sup>3</sup>							
4						m <sup>3</sup>								
5						m <sup>3</sup>								
※ 6m3コンテナ内容物:不燃物 - 金属ガラ ※ 6m3コンテナ表面線量率 γ = 0.003 mSv/h、 β + γ = 0.003 mSv/h														
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
	1	1	東電殿所有6m3コンテナ:TB-161	6 μSv/h	11 μSv/h	11 μSv/h	エリアX	2018/3/9 8:30	6 m <sup>3</sup>		TB-161	1		
									m <sup>3</sup>					
									m <sup>3</sup>					
									m <sup>3</sup>					
									m <sup>3</sup>					
									m <sup>3</sup>					
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※カ タ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
					06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
					11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
					01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		C	難燃物	01	伐採木	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012803 - 0027									
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	12:00		承認	審査	作成										
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事																	
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26									
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員			TEL										
	元請会社					担当者			TEL										
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368									
	G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率								
		①	②	③															
		1	コンテナ(ZK-00931)	B	01	D						B	6	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.1	mSv/h	無
2		コンテナ(ZK-00932)	B	01	D	B						6	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.08	mSv/h	無	
3	コンテナ(ZK-00926)	B	01	D	B	6	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	無							
4	コンテナ(ZK-00927)	B	01	D	B	6	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.005	mSv/h	無							
5						m <sup>2</sup>													
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0238	2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月5日		12:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h							
1	1	1	コンテナ(ZK-00931)	6	μ Sv/h	16	μ Sv/h	16	μ Sv/h	エリアX	2018/3/5 11:10	6	m <sup>2</sup>		ZK-00931	1
2	1	1	コンテナ(ZK-00932)	6	μ Sv/h	20	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアX	2018/3/5 11:10	6	m <sup>2</sup>		ZK-00932	1
3	1	1	コンテナ(ZK-00926)	6	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/3/5 11:10	6	m <sup>2</sup>		ZK-00926	1
4	1	1	コンテナ(ZK-00927)	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアX	2018/3/5 11:10	6	m <sup>2</sup>		ZK-00927	1
												m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事									
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26	
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/21		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
	1	吊り治具	B	01	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0239
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月6日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	吊り治具 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/6 11:10	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事								
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	鋼材	B	01	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0240
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月7日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/7 11:00	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事								
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	①	②	③							
1	鋼材	B	01	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0241
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月9日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材 ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/9 8:45	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0057

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1FP 共用プール設備ポンプ修理工事									
	発生場所	共用プール建屋 BFL						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23	
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者			測定器名	電離箱式	管理番号	F1-ICW-046		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス	A	01	D	B	0.02 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	B	0.02 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3	難燃シート	C	02	D	B	0.02 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無		
4	機器類・制御盤類	B	03	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	金属ガラ	B	01	D	A	0.01 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0243
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月7日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2		ICW	F1-ICW-158	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
メ モ	1	1	紙・ウエス	2	μ Sv/h	30	μ Sv/h			エリアO	2018/3/7 10:45	0.02 m <sup>2</sup>			2
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアO	2018/3/7 10:45	0.02 m <sup>2</sup>			2
	3	1	難燃シート	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアO	2018/3/7 10:45	0.02 m <sup>2</sup>			2
	4	1	機器類・制御盤類 ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/7 10:55	0.1 m <sup>2</sup>			1
	5	1	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/7 10:55	0.01 m <sup>2</sup>			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0244
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月7日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバ)工事								
	発生場所	各タンクエリア					2018/2/26	2018/2/23	2018/2/23	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	ICW(γ)	管理番号	F1-ICW-189		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
			①	②	③					
	1	可燃物(紙、ウエス類)	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2	可燃物(その他)	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無
3	可燃物(木材類)	A	03	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙、ウエス類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 10:50	1.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	可燃物(その他)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 10:50	0.8 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物(木材類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 10:50	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013203 - 0002	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日			(水)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバ)工事									
	発生場所	各タンクエリア					2018/2/26	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	ICWBL( $\beta + \gamma$ )		管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
2	不燃物(塩化ビニール類)	B	05	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
3	不燃物(その他)	B	10	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
4	不燃物(ケーブル類)	B	08	D	B	0.2 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無		
5						m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0245
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月7日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/7 12:30	2 m <sup>3</sup>			1
2	1	1	不燃物(塩化ビニール類)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/3/7 10:50	0.5 m <sup>3</sup>			2
3	1	1	不燃物(その他) ③	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/7 12:30	1 m <sup>3</sup>			1
4	1	1	不燃物(ケーブル類) ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/3/7 12:30	0.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013405 - 0013

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-6Mプロセス計算機取替同関連除却工事								
	発生場所	5-6号機 C/B 2FL 計算機室ほか					2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26	
	作業主管G	計装設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	γシンチレーション		管理番号	F1-SG-210
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	機器類・制御盤類 (サーハ-ほか)	B	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0246
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月9日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	柏原 誠治
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 (サーハ-ほか) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/9 12:35	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002		
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	13:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)										
	発生場所	K・M系排水路						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/26		
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/15		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③								
	1	土砂類	B	04	W	A	8 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	無		
	2						m <sup>3</sup>					
	3						m <sup>3</sup>					
	4						m <sup>3</sup>					
	5						m <sup>3</sup>					
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0253
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月6日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5	$\mu$ Sv/h	22	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/3/6 12:30	8 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0033

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	10:30		承認	審査	作成												
	作業件名	旧CST炉注水設備他除却工事																			
	発生場所	3号機 CSTタンク周辺						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27											
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員		TEL														
	元請会社				担当者		TEL														
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-048FL-ICWBL-51													
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
			①	②	③																
1			不燃物(金属ガラ)	B	01						D	A	3	m <sup>2</sup>	0.03	mSv/h	0.03	mSv/h	β 有	0.05	mSv/h
2													m <sup>2</sup>								
3													m <sup>2</sup>								
4						m <sup>2</sup>															
5						m <sup>2</sup>															
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。																					

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/2/27
廃2018	—	03	—	0256	
調整後保管日時		2018年3月7日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ)	5 μSv/h	100 μSv/h	600 μSv/h	エリアX	2018/3/7 10:35	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012601 - 0027		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	原子炉注水設備鋼管・弁点検										
	発生場所	1号機 タービン建屋 東側ヤード						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27		
	作業主管G	原子炉冷却グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	NaIシンチレーター		管理番号	F1-SC-078		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	保温材	B	06	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	10.5 μSv/h	無			
2	紙	A	01	D	B	0.8 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	8.6 μSv/h	無			
3						m <sup>2</sup>						
4						m <sup>2</sup>						
5						m <sup>2</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0257
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月7日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 13:05	0.1 m <sup>2</sup>				2
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05
				紙・ウエス類	プラスチック・ホリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
				01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
B	不 燃 物	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	12:30		承認	審査	作成				
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託											
	発生場所	1号T/B建屋海側周辺					2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27				
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	金属ガラ		B	01	D	A	12 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h	
	2							m <sup>2</sup>					
	3							m <sup>2</sup>					
4							m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>						
※金属ガラ:6m3コンテナ(借用済)を2基運搬。 運搬時間は瓦礫受取担当者様と調整します。													
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	金属ガラ	6 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアX	2018/3/7 12:00	6 m <sup>2</sup>		ZK-00967	1	
	1	2	金属ガラ	6 μSv/h	110 μSv/h	110 μSv/h	エリアX	2018/3/7 12:00	6 m <sup>2</sup>		ZK-00978	1	
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
	上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納												
	※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05
06					—	07	—	08	—	09	—	10	—
B			不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C			難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
D			伐 採 木										
②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	12:00		承認	審査	作成														
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託																					
	発生場所	1号T/B建屋海側周辺						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27													
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL														
	元請会社					担当者			TEL														
線量測定	線量測定年月日	2018/2/27		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80												
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
		①	②	③																			
		1	金属ガラ	B								01	D	A	12	m <sup>3</sup>	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h
		2														m <sup>3</sup>							
3							m <sup>3</sup>																
4							m <sup>3</sup>																
5							m <sup>3</sup>																
メモ	※金属ガラ:6m3コンテナ(借用済)を2基運搬。 運搬時間は瓦礫受取担当者様と調整します。																						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0274
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月9日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	6 $\mu$ Sv/h	19 $\mu$ Sv/h	19 $\mu$ Sv/h	エリアX	2018/3/9 12:00	6 m <sup>3</sup>		ZX-00979	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0002		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務										
	発生場所	1F構内(エリアT)						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-135		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	伐採木(枝葉)		D	02	W	A	10 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
2							m <sup>2</sup>					
3							m <sup>2</sup>					
4							m <sup>2</sup>					
5							m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/3/1
廃2018	—	03	—	0317	
調整後保管日時		2018年3月7日			10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(枝葉)							エリアV(伐採木)	2018/3/7 10:30	5 m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		01 伐採木		02 伐採木(幹・根)		03 —		04 —		05 —					
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。															
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	大型機器点検建屋						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-129		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	ポリ・ビニール類			A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	ケーブルシース			C	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3								m <sup>2</sup>				
4								m <sup>2</sup>				
5								m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0323
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:50	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ケーブルシース	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								